

令和6年度（2024年度）宝塚市人権教育指導員のプロフィール

- 梅田美佐子・・・中学校PTA会長を経て、人権ワークショップファシリテーター、小学校区人権啓発推進委員として人権教育の啓発に携わる。現在、子育て経験を生かし、孫育て奮闘中。保護者、地域と同じ目線で「じんけん」を身近に感じる出合いを大切に取り組んでいます。
- 小西 康広・・・40年近く子どもの教育に携わってきた。小学校長時代には、指導や評価、学力等について研修してきた。幼稚園長では、特に幼児期の子どもの成長と発達、また子どもへの理解と援助について、それらの重要性を実感してきた。これからも子どもと関わる機会を大切に、できる限りの支援をしていきたい。
- 鄭 順 男・・・韓国のソウル生まれ。26歳で結婚を機に渡日。渡日する前は、韓国ソウルの高校で社会科（歴史）教師。現在宝塚市民カレッジの講師。韓国語教室の講師。韓国料理教室で日韓交流をしている。
- 登日綱勢津子・・・LGBTQ+支援団体「ミリオンベル@たからづか」の事務局長。元市内小学校長。小学校勤務の時、地域教材等を活用した授業実践に取り組んできた。また、同時に「女性の人権」について研究する中で、LGBTQ+の問題とかわるようになった。「ありのままに自分らしく」の授業書の作成に積極的に取り組む。同和学習・LGBTQ+の授業実践に向けて支援をしていきたい。
- 平田 武二・・・被差別部落に生まれ、長年、部落解放運動に関わってきた。同和地区環境改善事業のさなか、宝塚市職員として第一隣保館（現、くらんど人権文化センター）勤務を経験し、地域の変貌ぶりに見聞を深める。宝塚市人権教育推進委員を経験し人権教育の発展にも関わる。現在、くらんど人権文化センター運営委員長をつとめ、人権文化の発展に尽力している。
- 万波 照枝・・・元公立幼稚園長であり、在職中は、同和教育研究会を立ち上げ、「思いやりの分析」など、保育の実践的方向性を研究員と共にまとめた。現在は、大阪芸術大学短期大学部通信教育部保育学科の非常勤講師、保育・教育コンサルト「with」の代表として活動している。
- 室崎 俊洋・・・元市内小・中学校長である。中学校教員として同和教育の実践を積み、市教育委員会指導主事として人権・同和教育の深化・充実に取り組んできた。人権・同和教育を基盤とした学校づくりを進めてきた経験に加え、小学校・中学校の校長経験を生かし、小中連携を踏まえての指導助言を多くの学校で行ってきている。
- 山脇 佳・・・兵庫県ならびに宝塚市の母語支援員として活動している。現在、大学院博士後期課程において、「移民と教育」の研究をしている。また、ジェンダーにも関心があり、性的マイノリティをエンパワメントするNPOにも所属している。
- 和久 有彦・・・元小・中学校長、元県教委学校支援チーム相談員である。現在、宝塚市人権・同和教育協議会会長、宝塚市人権審議会会長、「学校応援団」総括コーディネーターとして日々人権教育・啓発に精力的に取り組んでおり、学校教育をはじめ社会教育においても、数多く指導助言している。著書に「校庭からの贈り物」「子どもは学校で育つ」「若い先生たちへ160の言葉」「愛と優しさの本」等がある。

※ 講師を招聘される際の参考にしてください。詳しく知りたい方は、下記までご連絡ください。

学校教育課【担当：佐藤・石櫃・清水】 TEL：77-2040 / FAX：71-1891